

令和7年6月吉日

一般社団法人 日本応用地質学会
フィールドの達人企画委員会

「令和7年度 応用地質技術実践講座」開催のお知らせ

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

フィールドの達人企画委員会ならびに日本応用地質学会では、若手～中堅技術者を対象に技術伝承や現場を中心とした地質調査・解析技術力の向上を目的として、平成26年度から「応用地質技術実践講座」を企画・開催しております。

本講座は応用地質技術に深く関わる「地下水」「土木地質」「災害地質」「地形」の4つの分野に関して、その調査解析技術・手法について講師・受講者間で議論を深め、各テーマの根幹となる考え方を実践的に学ぶ内容としています。幸いなことに講座を受講された皆さまからも好評をいただいています。

今年度は『災害地質』をテーマとし、土砂災害や水害等に関する応用地質学的な基礎～専門知識を習得すること、また令和元年東日本台風の被災地（神奈川県箱根町を予定）にて現場実習を行い、実践的な技術力・思考力を向上することを目的としています。

我が国は、地震や豪雨、火山噴火、およびそれらに伴って発生する土砂災害によって、毎年のように甚大な被害が発生しています。このような自然災害の被害軽減や災害発生後の迅速な復旧を行うためには、地質学的な専門知識や経験の活用が不可欠です。本講座では、自然災害のメカニズムや調査方法を実際の事例も交えて分かりやすく説明するとともに、現地実習によって講義参加者が実務に活かせる、実践的に役立つものにしたいと考えています。

つきましては、是非この好機をとらえまして、貴社の地質技術職員の積極的な参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

なお、座学および現場研修では、当学会の災害地質研究部会のメンバーが担当いたします。

敬具

- 1.日 時：第1回（座学） 7月17日（木）～7月18日（金）
第2回（現場研修） 9月8日（月）～9月10日（水）
- 2.場 所：第1回（座学） 八千代エンジニアリング(株) 東京都台東区浅草橋 5-20-8
第2回（現場研修） 神奈川県箱根町を予定
※対面形式のみ
- 3.目 的：技術伝承、中堅・若手技術者を対象とした地質調査・解析技術力の向上
- 4.定 員：20名（原則として、座学・現場研修のいずれにも参加できる方に限ります）
- 5.募集対象：実務経験3～10年程度で災害地質に興味のある方。
※実務経験が上記以外で申し込みを希望される方は、問合せ先までご連絡ください。
- 6.参 加 費：日本応用地質学会員：25,000円、非会員：30,000円（現場研修に係る費用はそれぞれ別途徴収）
※支払い方法は別途ご案内いたします。
※現場研修にかかる費用は25,000円程度を予定しています（宿泊・移動費用等に充当）。
現地までの交通費は各自でご負担願います（詳細行程は後日お知らせします）。
※やむを得ない事情にて第2回を欠席した場合も参加費の返金はいたしかねます。
※「日本応用地質学会員」とは正会員を差します。賛助会員特典の適用外となりますので
ご承知おきください。
- 7.申込締切：令和7年6月27日（金）
※原則として受付は先着順としています。ただし、1社から多数の方の申込みがあった場合など
優先順位を調整させていただくこともございます。
※申込状況によっては上記日程よりも早く締め切らせていただく場合がございます。
- 8.申込方法：下記 URL からお申込みください。
<https://forms.gle/uLeKA475exb2ewzY6>
※右の二次元バーコードからもアクセス可能です。
※上記 URL から申込みが出来ない場合は問合せ先までご連絡ください。



9. C P D：日本応用地質学会または Geo-SchoolingNet にて登録、発行予定。

11.問い合わせ先：

フィールドの達人企画委員会 事務局 高野 征宣

〒111-8648 東京都台東区浅草橋 5-20-8（八千代エンジニアリング(株)内）

E-mail：jissen-kouza@geologist-jp.net

TEL：03-5822-6849

※電話番号は直通です。携帯電話に転送させているため、担当者が圏外エリアにいる場合は対応
できません。ご承知おきください。

【実践講座の内容】

第1回 座学 7月17日(木)～7月18日(金)

会場：八千代エンジニアリング(株) 東京

講義内容・タイムスケジュール※1：

タイムスケジュール		講義内容	講師(案)
1日目			
13:00～13:10	0.16h	講座の開催にあたって	大石 朗 監事※2 (八千代エンジニアリング(株)) 下村 博之 部長※3 (株)パスコ)
13:10～13:20	0.16h	オリエンテーション	安藤 伸 幹事※3 (応用地質(株))
13:20～15:20	2.00h	自然災害の地形・地質の知識	上野 将司 顧問※3 (応用地質(株))
15:20～15:30	0.16h	休憩	—
15:30～16:30	1.00h	災害復旧の考え方と災害時の初動調査	安藤 伸 幹事※3 (応用地質(株))
16:30～16:40	0.16h	休憩	—
16:40～18:00	1.33h	類似の災害と「やや不自然な自然災害」	高見 智之 委員※3 (国際航業(株))
18:00～18:15	0.24h	技術者マッピングについて	清水 公二 委員※4 (株)ニュージェック)
2日目			
9:00～10:30	1.50h	ドローンと踏査による災害調査例	佐藤 昌人 幹事※3 (国研)防災科学技術研究所)
10:30～10:40	0.16h	休憩	—
10:40～12:10	1.50h	ハザードマップの作り方と減災のためのアウトリーチ	松澤 真 幹事※3 (京都大学防災研究所)
12:10～13:10	1.00h	休憩	—
13:10～14:40	1.50h	石碑から読み解く自然災害	橋本 修一 委員※3 (株)東北開発コンサルタント)
14:40～14:50	0.16h	休憩	—
14:50～15:20	0.50h	自然災害伝承碑調査票について	千田 啓二 副部長※3 (株)八州)
15:20～16:00	0.66h	現場実習ガイダンス	稲垣 秀輝 顧問※3 (株)環境地質)

※1：現時点の暫定スケジュールのため、一部変更となる可能性があります。

※2：フィールドの達人企画委員会

※3：日本応用地質学会 災害地質研究部会

※4：日本応用地質学会 応用地質学教育普及委員会

第2回 現場研修 9月 8日(月)～9月10日(水) (2泊3日)

研修場所：令和元年東日本台風の被災地を予定（神奈川県箱根町を予定）

講義内容：下記の4つのテーマについて、箱根外輪山内での講座巡検を計画しています。

- ① 2019年19号台風の被害と復旧
 - ・風の森ガーデンの表層崩壊と復旧の工夫、新技術
 - ・宮城野長大崩壊と復旧工事
 - ・長尾峠に向かう道路に沿った流水に寄る法肩崩壊と復旧工事
 - ・138号乙女峠外側繰り返す道路に沿った流水に寄る法肩崩壊と復旧工事
 - ・小涌谷箱根登山鉄道被災箇所

- ② 箱根の自然災害伝承碑
 - ・関東大震災2箇所（仙石原、小涌谷）
 - ・アイオン台風（宮城野・湖尻）
 - ・早雲山地すべりと火山砂防による復旧（早雲山2箇所）

- ③ 箱根ジオパーク、
 - ・大涌谷の町立箱根ジオミュージアムの見学
 - ・長尾峠に向かうところの外輪山内側の仙石火山露頭
 - ・芦ノ湖ができた山体崩壊を遠望

- ④ 箱根古道
 - ・宮城野碓氷峠の山の道と川の道
 - ・箱根全体自然災害による古代から現在までの東海道のルートの変遷（富士山噴火との関係）
 - ・宮城野碓氷峠中世東海道と中山道の違い

班編成：4名×5チーム（場合によっては5名×4チーム）

講師：各班1名、日本応用地質学会災害地質研究部会員が担当。

（全体統括を稲垣顧問が担当）

会 場 案 内

会 場：八千代エンジニアリング株式会社

東京都台東区浅草橋 5-20-8 CSタワー 16F 会議室

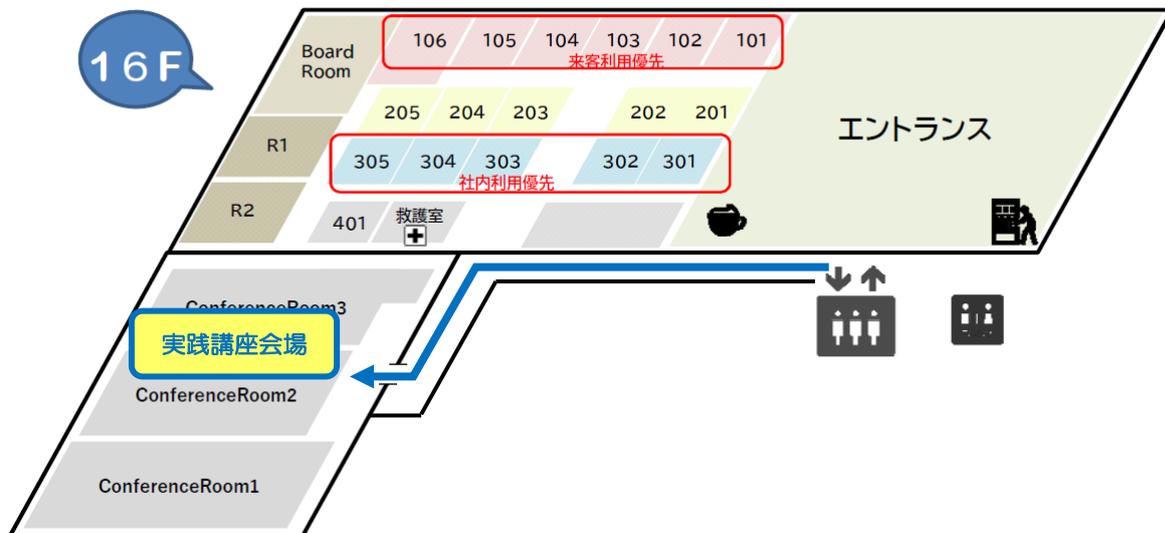
受付場所：会場と同じ

受付開始：7月17日（木）12:30～



交 通：JR 中央線・都営浅草線「浅草橋駅」西口より徒歩 9 分
 JR 山手線「秋葉原駅」昭和通り口より徒歩 10 分
 都営大江戸線「新御徒町駅」A2 出口より徒歩 9 分
 東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」1 番出口より徒歩 10 分

【会議室案内図】



※会場の 16 階には、1 階ホールの奥側（東側）にある高層階用エレベーターを使って上がってください。